

Daniel Galvin

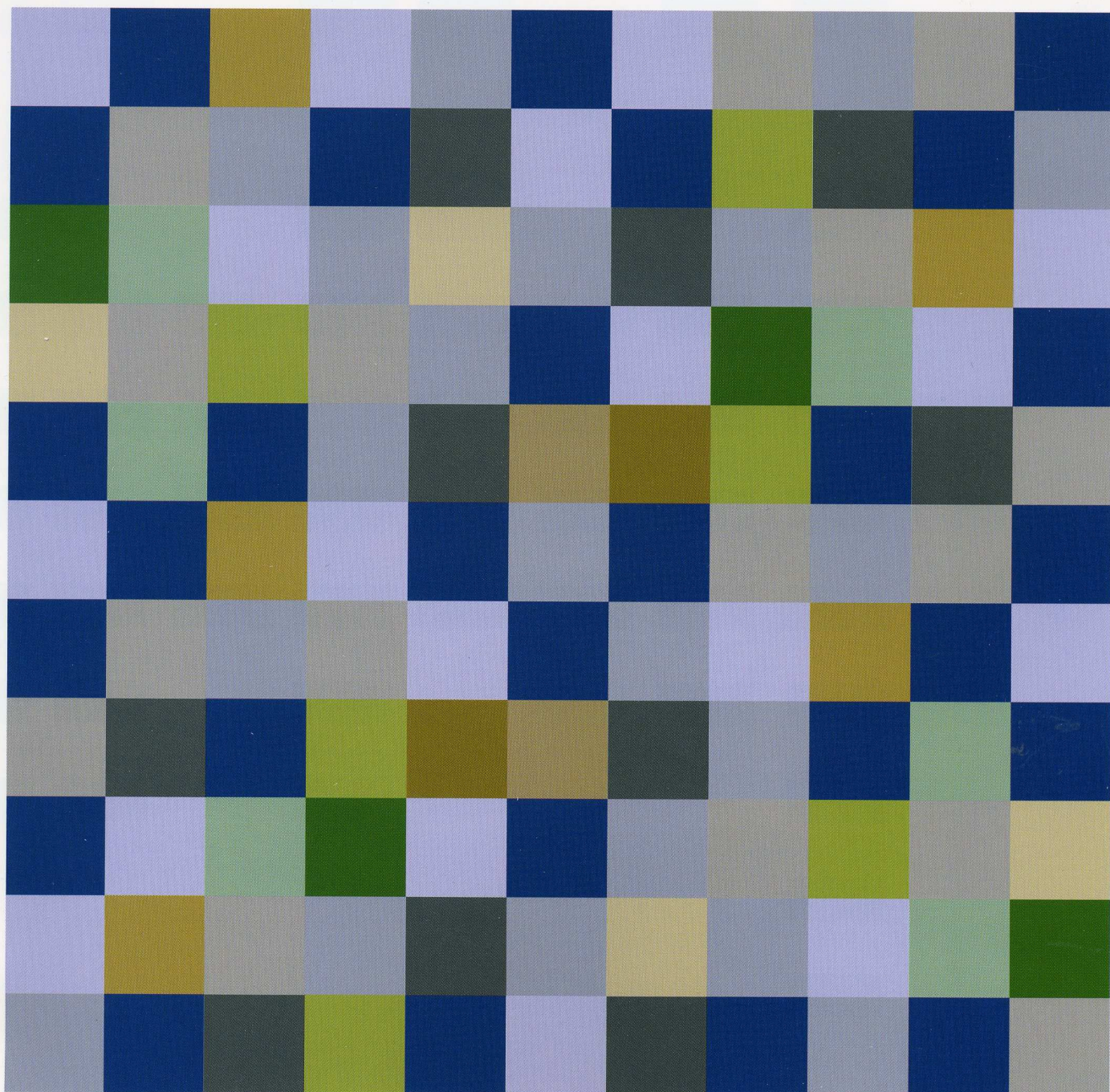
PROMASTER EX

Promaster is the brand for professionals that raises the value of hair salon.



TECHNICAL MANUAL

藥劑知識編




















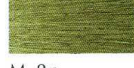



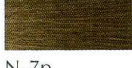
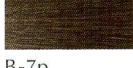
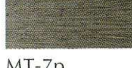
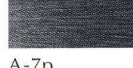




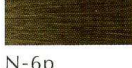






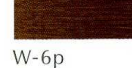



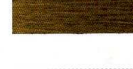
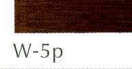
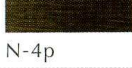



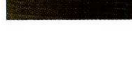


プロマスターEXシリーズ カラーラインナップ












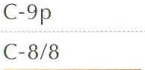
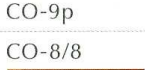
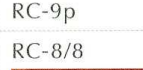
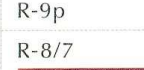
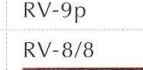
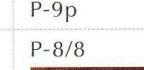
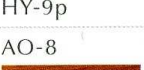










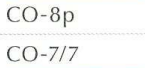
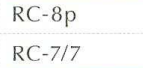

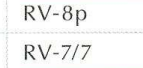
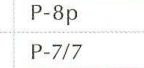

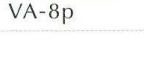
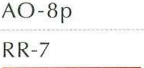








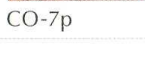
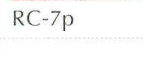
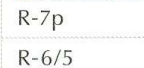
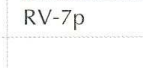
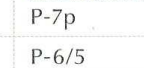
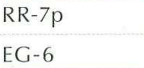






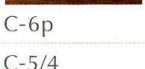
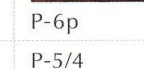
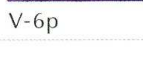
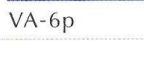





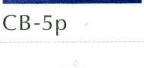

プロマスター EXのヘアカラーは、3シリーズ全150アイテムのラインナップ。ファッションカラーからグレイカラーまで幅広く活用でき、シリーズ全体の色調が連動しているため、リタッチや求める色味に合わせて色番が選びやすいのが特長です。

各シリーズを使いわけることで、多彩な表現や良質なヘアコンディションのキープなど、お客様のさまざまなニーズにお応えできます。

On White Hair

N Natural ナチュラル	B Brown ブラウン	MT Monotone モノトーン	A Ash アッシュ	M Matte マット	L Lime ライム	G Gold ゴールド	W Warm ウォーム
N-10/12 			A-10/11 	M-10/12 		G-10/12 	
N-10/10 			A-10/9 	M-10/10 			
N-9/8 	B-9/8 	MT-9/8 	A-9/8 	M-9/9 	L-9/8 	G-9/9 	W-9/9 
N-9p	B-9p	MT-9p	A-9p	M-9p	L-9p	G-9p	W-9p
N-8/7 	B-8/7 	MT-8/7 	A-8/7 	M-8/7 	L-8/7 	G-8/7 	W-8/8 
N-8p	B-8p	MT-8p	A-8p	M-8p	L-8p	G-8p	W-8p
N-7/6 	B-7/6 	MT-7/6 	A-7/6 	M-7p 	L-7/6 	G-7p 	W-7/7 
N-7p	B-7p	MT-7p	A-7p	M-7p	L-7p	G-7p	W-7p
N-6/5 	B-6/5 	MT-6/5 	A-6p 	M-6/5 	L-6/5 	G-6/5 	W-6/6 
N-6p	B-6p	MT-6p	A-6p	M-6p			W-6p
N-5/4 	B-5/4 			M-5/4 		G-5/4 	W-5/5 
N-5p	B-5p						W-5p
N-4/3 				M-4/3 		G-4/3 	
N-4p							
N-3/2 							
N-2/1 							

A = アッシュ (色相)	9 = 9トーン (白毛の染まり)	8 = 8レベル (黒髪の)
A-9p	プロマスター EX ピグメント	
A = アッシュ (色相)	9 = 9トーン (白毛の染まり)	p = ピグメント

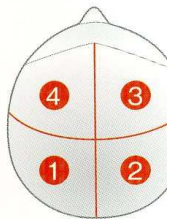
C Copper カッパー	CO Copper Orange カッパー オレンジ	RC Ruby Copper ルビー カッパー	R Ruby ルビー	RV Ruby Violet ルビー バイオレット	P Plum プラム	V Violet バイオレット	VA Violet Ash バイオレット アッシュ	AC Accent Color アクセントカラー
C-10/12 			R-10/11 			V-10/11 		
C-10/10 								
C-9/9 	CO-9/9 	RC-9/9 	R-9/8 	RV-9/9 	P-9/9 			HY-9 
C-9p 	CO-9p 	RC-9p 	R-9p 	RV-9p 	P-9p 			HY-9p 
C-8/8 	CO-8/8 	RC-8/8 	R-8/7 	RV-8/8 	P-8/8 	V-8/7 	VA-8/7 	AO-8 
C-8p 	CO-8p 	RC-8p 	R-8p 	RV-8p 	P-8p 	V-8p 	VA-8p 	AO-8p 
C-7/7 	CO-7/7 	RC-7/7 	R-7/6 	RV-7/7 	P-7/7 			RR-7 
C-7p 	CO-7p 	RC-7p 	R-7p 	RV-7p 	P-7p 			RR-7p 
C-6/5 			R-6/5 		P-6/5 	V-6/6 	VA-6/6 	EG-6 
C-6p 					P-6p 	V-6p 	VA-6p 	
C-5/4 					P-5/4 			CB-5 
C-4/3 					P-5p 			CB-5p 
								BB-1 

プロマスターEX テクニカルプロセス

ヘアカラーの基本的なプロセスを紹介します。

各プロセスの内容を理解し、クオリティの高いサロンカラーリングを提供しましょう。

カウンセリング	<p>お客様とコミュニケーションを取りながら、お客様のイメージする仕上がりを理解します。</p> <p>また、毛髪診断により新生部の髪質、 既染部の髪の状態（アンダーレベル・施術履歴・ダメージレベル）を把握します。</p> <p>さらにプロセスの中でその都度、必要な情報をお客様に確認します。</p>
薬剤と色番の選定	<p>カウンセリングの結果に基づき、来店時の髪の明るさ・ダメージに合わせて、 希望色に仕上げるために必要な薬剤と色番を選びます。</p>
テクニックの決定	<p>髪の状態と使用薬剤、求める仕上がりの色を考え、テクニックを決定。</p> <p>お客様へ施術にかかる時間と料金の目安などを説明します。</p>
前処理剤塗布	<p>均一な染まりと、染料の定着を高めるために、 必要に応じてプロマスター カラーケア Ptを使います。</p> <p>擬似コルテックスが髪の内部に、擬似キューティクルが髪の表層に作用します。</p> <p>■ショート 約10mL ■ミディアム 約20mL ■ロング 約30mL以上（標準毛）</p>
ドライイング	<p>ハーフドライ以上に乾かします。</p> <p>ウェット状態での染毛は、薬剤の希釈により染毛力が低下する場合があります。</p>
セクションング	<p>早く、正確な塗布のために、セクションングを行います。</p>



薬剤調合

1剤と2剤を調合します。（プロマスター EX・プロマスター EXピグメント：2剤=1:1、プロマスター EXライトレベル：2剤=1:2）

バージン毛の 使用目安量	プロマスター EX・プロマスター EX ピグメント		プロマスター EX ライトレベル	
	1剤	2剤	1剤	2剤
ショート	40g	40mL	30g	60mL
ミディアム	60g	60mL	40g	80mL
ロング	80g	80mL	50g	100mL

薬剤塗布

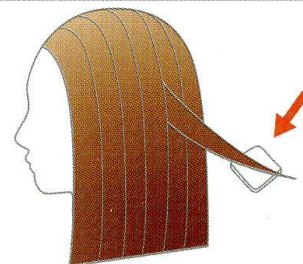
塗布はすばやく正確に**15分以内**で終わらせます。
塗布に時間がかかり過ぎると、
塗りはじめと塗り終わりの部分の発色に差が出てしまうことがあります。

放置

基本的にラップやキャップは必要ありませんが、
エアコンの近くなどは薬剤の乾燥防止や、
頭の体温を均一に保てるように軽くラップをかぶせます。

チェック

トップやサイド、バックの2~3ヶ所から毛束を取り出し、
薬剤をコットン等でふき取ります。
光に透かしたり、白いコットンの上で見たり、
根元~毛先までの明るさや色調をチェックします。
(グレイヘアの場合は白髪の多かったところをチェックします)



シャンプー

必要に応じて乳化した後、**プロマスター カラーケア シャンプー**を使います。

- 乳化 白髪染めなど染料濃度の濃い薬剤を使用したときは、よく揉みながら流すと、頭皮に付いた染料が比較的落ちやすくなります。



後処理剤塗布

髪のパHをやさしく戻すために**プロマスター カラーケア Bf**を使います。
プロマスター EX・プロマスター EX ライトレベル使用時は3~5分間放置、
プロマスター EX ピグメント使用時は塗布後すぐ流します。

- ショート 約10~15mL ■ミディアム 約15~20mL ■ロング 約20mL以上 (標準毛)



トリートメント

コンディションを整え、褪色を防ぐため、
プロマスター カラーケア ヘアトリートメントを使います。



ホームケア

ヘアカラーリング後は髪のコディションを戻し、
美しい髪色と髪質をアップするために、
プロマスター カラーケアの使用をお客様にお勧めします。



毛髪診断のポイント

お客様のご要望にお応えするヘアカラーをするためには、正確な毛髪診断が欠かせません。

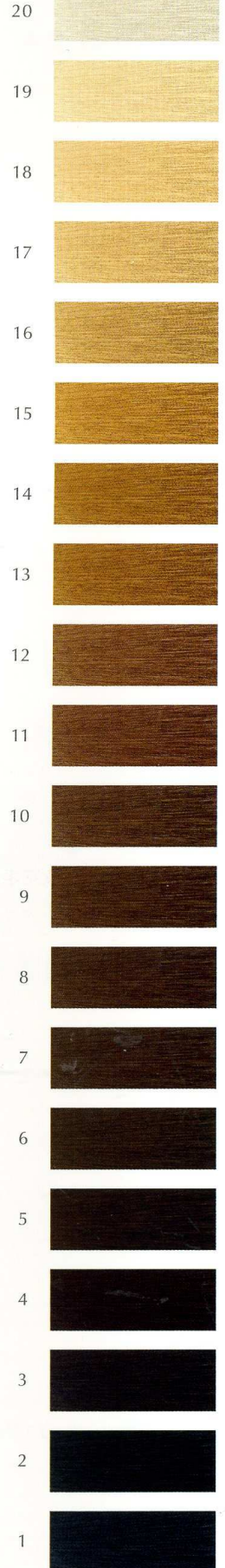
髪質やコンディションは人それぞれ異なり、毛髪診断の結果によって薬剤の選定やテクニックが変わってきます。

ここでは毛髪を新生部と既染部にわけ、それぞれの診断に必要なポイントを紹介します。

新生部

右の写真は、日本人の標準毛をブリーチしたときに現れる明るさと色味を、20段階で表現したアンダーレベルスケールです。同じ黒髪でも明るくしたときに出てくる色味は人によって差があるので、下記の傾向に注意して薬剤を選びましょう。

20 Level Scale



髪質による色味の傾向

髪質・明るさ

LT/H使用イメージ

■ 軟毛

■ 細い髪

■ 吸水性毛

■ 乾燥毛

■ 地毛が明るく5レベル以上



黄味が出やすい
明るくなりやすい

■ 標準毛約4レベル



カラーチャートに
近い仕上がり

■ 硬毛

■ 太い髪

■ 撥水性毛

■ 油性毛

■ 地毛が暗く3レベル以下



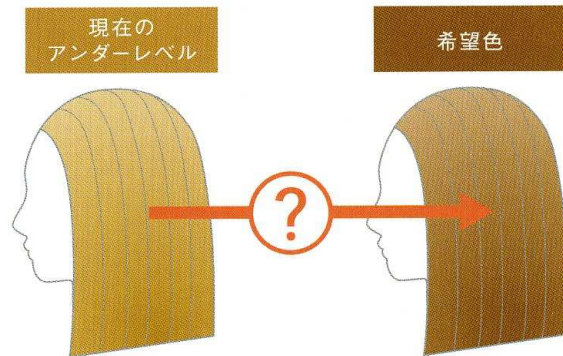
赤味が出やすい
明るくなりにくい

既染部

既染部の毛髪診断では、アンダーレベル以外に施術履歴やダメージの度合いなどの確認も大切です。
既染部全体の状況をよく確認した後、使用する薬剤やテクニックを決定します。

アンダーレベル

既染部へのヘアカラーリングでは、まずアンダーレベルをしっかりと把握しましょう。現在のアンダーレベルから希望の色調や明度にするために、どんな色素が必要なのか、あるいは不要なのかを計算して薬剤を選びます。

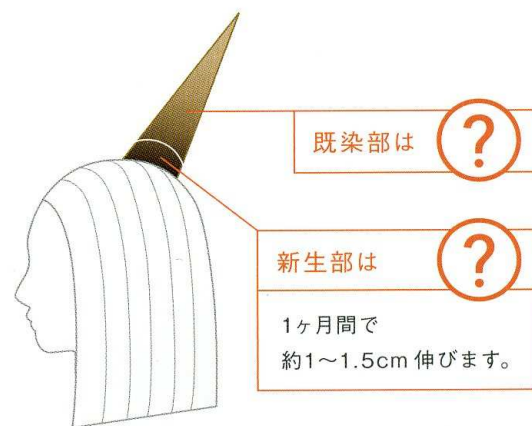


施術履歴

既染部にヘアカラーの染料が残っていると、思ったような仕上がりにならない場合があります。そこでお客様にいつ、どんなヘアカラーで何色にしたかをお聞きしましょう。また、アイロンなどによる縮毛矯正毛も染まり方に大きな影響を与えますので、正確に履歴を確認します。

縮毛矯正毛の注意点

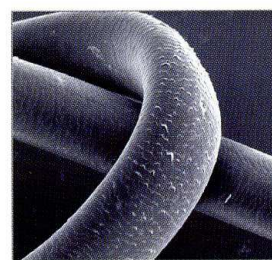
毛髪内部のタンパク質がかたくなるため、染まりにくくなったり、ブリーチ効果が出にくくなったりします。



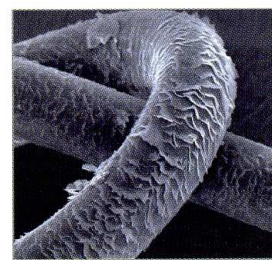
ダメージレベル

毛髪のダメージ度合いによっては、同じ薬剤を使用しても染料の入り方や褪色に差が生まれます。特に18レベル以上の毛髪はダメージが進みすぎているため、染まり方がムラになる場合もあり注意が必要です。ダメージ度合いを確認した上で、薬剤を選びましょう。

※詳しくはp.7表内の「ヘアカラーの染まり方」などを参考にしてください。



健康毛



ダメージ毛

アンダーレベルとダメージレベル

アンダーレベル	ダメージレベル	毛髪の状態	ヘアカラーの染まり方	毛髪イメージ図
	ホワイト			
	レベル4	<ul style="list-style-type: none"> ■ 手触りが悪く、非常にからみやすい ■ 毛髪強度が低下して枝毛や切れ毛が発生する ■ 水分保持機能が低下して非常にパサつく ■ シスチン結合の減少でパーマがかかりにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 色がくすんで、色味が出にくい ■ 色が入りすぎたり、入らなかつたりして、染まり方が予測できない (※場合によりストランドテストが必要) 	
	イエロー	<ul style="list-style-type: none"> ■ 手触りが悪く、からみやすい ■ 毛髪強度が低下して枝毛が発生する ■ 水分保持機能が低下してパサつく ■ シスチン結合の減少でパーマの持ちが悪い 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体的に色がくすむ ■ ナチュラル系や寒色系は濃く染まりやすい ■ 暖色系は淡く染まりやすい 	
	オレンジ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 手触りが悪く、ややからみやすい ■ 水分保持機能が低下してややパサつく 	<ul style="list-style-type: none"> ■ やや色が入りやすい 	
	ブラウン	<ul style="list-style-type: none"> ■ 手触りが少し悪い 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 色の入り方が予測しやすい 	
	ブラック	<hr/>	<hr/>	

薬剤の選定

毛髪診断後、お客様の希望の髪色が表現できる薬剤を選びます。


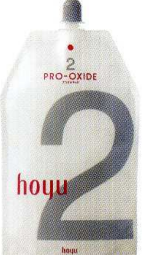
毛髪の状態に合わせた薬剤を選ぶことで、より満足度の高い仕上がりになります。

1剤の種類

<h3>プロマスター EX</h3>	多彩な髪色表現ができるアルカリタイプ								
	<p>色相環に基づく色相をバランスよくそろえ、計算通りの発色を実現し、多彩な髪色表現と幅広い素材への対応が可能です。</p> <table border="1" data-bbox="1126 486 1546 616"><tr><td>発色</td><td>○</td></tr><tr><td>ブリーチ力</td><td>○</td></tr><tr><td>1剤：2剤</td><td>1：1 [6%を使用]</td></tr></table>	発色	○	ブリーチ力	○	1剤：2剤	1：1 [6%を使用]		
発色	○								
ブリーチ力	○								
1剤：2剤	1：1 [6%を使用]								
<h3>プロマスター EX ライトレベル</h3>	高明度のカラーリングのためのアルカリタイプ								
	<p>ワンプロセスで、黒髪を11～13レベルの明るさに仕上げます。高明度でありながら、各色相のきれいな色味が楽しめます。</p> <table border="1" data-bbox="1126 806 1546 936"><tr><td>発色</td><td>○</td></tr><tr><td>ブリーチ力</td><td>◎</td></tr><tr><td>1剤：2剤</td><td>1：2 [6%を使用]</td></tr></table>	発色	○	ブリーチ力	◎	1剤：2剤	1：2 [6%を使用]		
発色	○								
ブリーチ力	◎								
1剤：2剤	1：2 [6%を使用]								
<h3>プロマスター EX ピグメント</h3>	ブリーチ力を持たない、既染毛用の微アルカリタイプ								
	<p>明度を上げずに染料を鮮やかに発色させるアルカリ度に設定することで、既染毛へのダメージを抑えます。</p> <table border="1" data-bbox="1126 1120 1546 1290"><tr><td>発色</td><td>○</td></tr><tr><td>ブリーチ力</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="2">1剤：2剤</td><td>1：1 [7トーン以上は2%を使用]</td></tr><tr><td>1：1 [6トーン以下は6%を使用]</td></tr></table>	発色	○	ブリーチ力	—	1剤：2剤	1：1 [7トーン以上は2%を使用]	1：1 [6トーン以下は6%を使用]	
発色	○								
ブリーチ力	—								
1剤：2剤	1：1 [7トーン以上は2%を使用]								
	1：1 [6トーン以下は6%を使用]								
<h3>プロマスター トナーオン</h3>	トナー専用の微アルカリジェルタイプ								
	<p>シャンプーブースで使用する既染毛対応のトナー専用微アルカリヘアカラー。ブリーチ力がなく、短時間で鮮やかな発色とツヤを実現します。</p> <p>※詳しくはプロマスター トナーオンテクニカルマニュアルをご参照ください。</p> <table border="1" data-bbox="1126 1444 1546 1617"><tr><td>発色</td><td>○</td></tr><tr><td>ブリーチ力</td><td>—</td></tr><tr><td>1剤：2剤</td><td>1：1 [2%を使用]</td></tr><tr><td colspan="2">インバスでウェットな髪に使用</td></tr></table>	発色	○	ブリーチ力	—	1剤：2剤	1：1 [2%を使用]	インバスでウェットな髪に使用	
発色	○								
ブリーチ力	—								
1剤：2剤	1：1 [2%を使用]								
インバスでウェットな髪に使用									

※プロオキサイド6とプロオキサイド2は、毛髪の状態や使用目的に応じて使いわけます。

2剤の種類

<h3>プロオキサイド6</h3>	<h3>プロオキサイド2</h3>
 <p>主にプロマスター EX、プロマスター EX ライトレベル、パウダーブリーチに使用。プロマスター EXピグメントの6トーン以下など、染料濃度が濃い薬剤にも使用します。</p>	 <p>主にプロマスター EX ピグメント、プロマスター トナーオンに使用。その他、プロマスター EXのブリーチ効果を抑えたい場合やパウダーブリーチの脱色脱染効果を弱めたい場合にも使用します。</p>

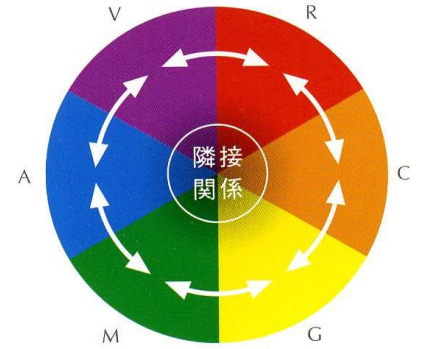
カラーコントロール

実際のヘアカラーリングでは、カラーチャートの色をそのまま使用しただけでは求める色になりにくいことがあります。希望色を表現するために、ヘアカラーの色相や彩度、明度の関係を理解し、必要に応じて活用します。

色相調節

隣接色の使い方

色相環でとなり合った色同士をミックスすると、中間の色をつくることができ、単品では出せない色が表現できます。混ぜる色同士の組み合わせや比率によって、さまざまなオリジナルの色を創造することも可能です。サロン独自の発想で、お客様へのご提案の幅やヘアカラーデザインの可能性が広がられます。



■ 隣接色を使う 黄味の強いブリーチ毛へ、C (銅) 系を表現

単品使用仕上がりイメージ	[髪の色+銅] → 黄色に傾く
--------------	-----------------

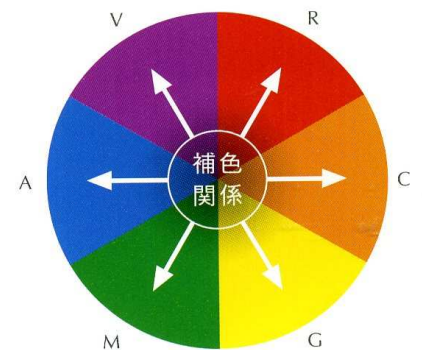


希望色へ色相環で隣接する色調のミックスが効果的	C (銅) + R系
-------------------------	------------



補色の使い方

色相環で向かい合った色同士が混ざり合うと、お互いの色味を打ち消します。実際のヘアカラーリングでは、さまざまな場面で補色関係を意識する必要があり、活用することで求める色味が表現できます。



■ 補色を使う 赤味のある髪にG (ゴールド) 系を表現

赤味を打ち消すために補色になるグリーン系を希望色に混ぜて使用	G (ゴールド) + M系 または EG-6
--------------------------------	------------------------



希望通りのG系の仕上がり

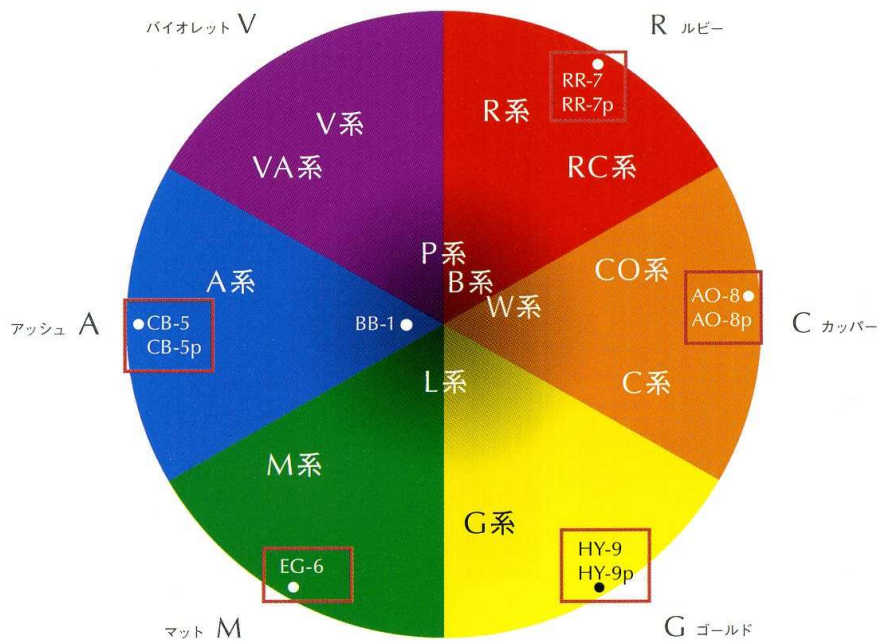
彩度調節

彩度を上げる場合

各色調の彩度をさらに上げたいときは、アクセントカラーをミックスします。
同じ色調のアクセントカラー1～3割程度のミックスが目安です。

PROMASTER EX シリーズ

右図の **アクセントカラー** は、色相環上で彩度の最も高いところに位置しています。

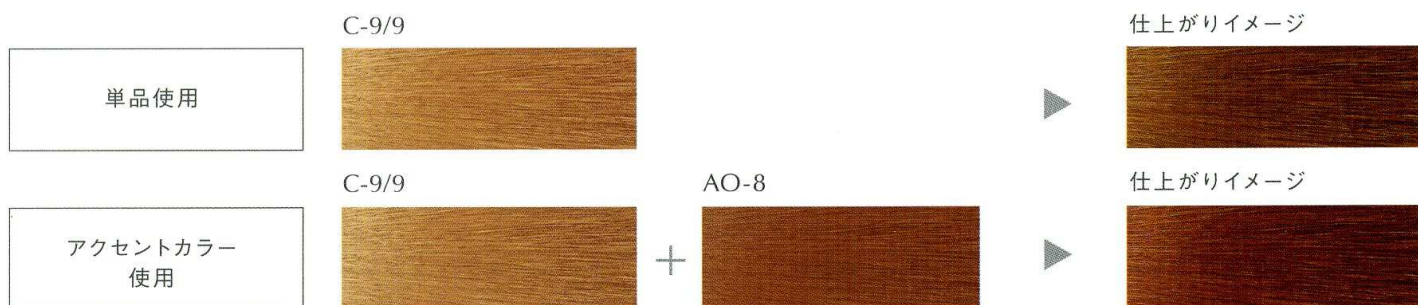


■アクセントカラー活用法

希望色を強調し、彩度を上げるためにはアクセントカラーが有効です。
ミックスの割合を高くすると、アクセントカラーの色調に傾き、彩度が高くなります。

希望の色調	プロマスター EX	プロマスター EX ピグメント	ミックス量の目安
ゴールド系	HY-9	HY-9p	2～3割程度ミックス
銅系	AO-8	AO-8p	
ルビー系	RR-7	RR-7p	
マット系	EG-6	—————	暗い薬剤なので 1割程度ミックス
アッシュ系	CB-5	CB-5p	

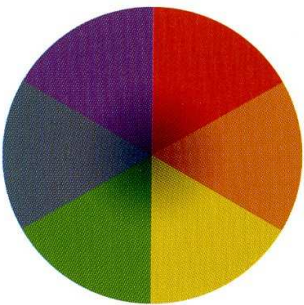
単品使用とアクセントカラー使用の仕上がりイメージの違いを紹介します。



彩度を下げる場合

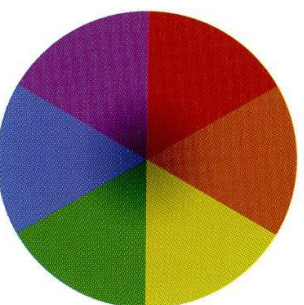
各色調の彩度を下げたいときは、N (ナチュラル) 系、MT (モノトーン) 系をミックスします。表現したい色のニュアンスによってどちらの色調を使用するかを決定し、ミックスする割合に応じて彩度の強さをコントロールします。

■ N系 ミックスイメージ



	<p>N (ナチュラル) 系は赤味や黄味がバランスよく含まれた、ニュートラルなブラウン〜ベージュ系の色調です。各色調とミックスすると、ナチュラルな色味 (N系の色味) で彩度を調節できます。</p>	<p>希望色とのミックス例</p> <p>基本的な考え方 希望色 : 希望色と同トーンのN系 = 1 : 1</p> <p>希望色より暗い色をミックスした場合は、希望色調がN系に変化していきます。</p>
--	---	--

■ MT系 ミックスイメージ



	<p>MT (モノトーン) 系は A (アッシュ) 系よりも青味や紫味が少ない無彩色系の色調です。各色調とミックスすると、すりガラス越しに色を見るような、くすみ感で彩度を調節できます。</p>	<p>希望色とのミックス例</p> <p>基本的な考え方 希望色 : 希望色と同トーンのMT系 = 1 : 1</p> <p>希望色より暗いMT系のミックスは、希望色の色味が失われていきますので、注意が必要です。</p>
--	--	--

N (ナチュラル) 系、MT (モノトーン) 系の同トーンを使用して彩度を下げたときの仕上がりイメージです。

A-9p



+N系



+MT系



L、W、P、B系

これら4つの色調には、N系のナチュラルブラウンが配合されていますので、N系の特長を利用しながらいろいろな場面で活用できます。L（ライム）＝M（マツ）系ブラウン、W（ウォーム）＝C（カッパー）系ブラウン、P（プラム）＝R（ルビー）系ブラウン、B（ブラウン）＝N（ナチュラル）系ブラウンよりも茶色味が強調された色調です。

例えば、こんな場合の薬剤選定なら

赤味の少ない髪を、
M系より優しいマツ
（緑味の少ないマツ）で染めたい。

L系を選択



パサつき感のある髪を、
暖色のツヤ感を補いながら
C系よりナチュラルに染めたい。

W系を選択



褪色しやすい髪を、
N系よりしっかりブラウンに染めたい。

B系を選択



例えば、ファーストグレイが気になるとき

白髪はメラニン色素がない状態の髪色です。メラニン色素はナチュラルブラウン系の色調ですので、N系色調が配合された希望色を使用することで目立たなくなります。



R-8/7で染めた
仕上がりイメージ



P-8/8で染めた
仕上がりイメージ

※P系に含まれているブラウン味が、
白髪と黒髪の色調をなじませます。

例えば、白髪染めをするとき

※白髪染めの詳しい薬剤選定は、「テクニック編・グレイカラーテクニックQ&A (p.13)」をご覧ください。

メラニン色素に近いN系の色調は、白髪染めには最適な薬剤選定ですが、N系よりも、茶色味が強調されたB系の使用も効果的です。



※B系のブラウン味が、
さらに白髪の染まりを良くします。

明度調節

ブリーチ剤の種類と目的

各ブリーチ剤は、下記を参考に目的や必要に応じて使いわけましょう。

種類	1剤：2剤	目的	バージン毛への明度
プロマスター EX LT 脱色剤 	1：1	毛髪のメラニン色素の分解	
プロマスター EX ライトレベル LT/H 脱色剤 	1：2	毛髪のメラニン色素の分解	
ホーユーパウダーブリーチ 脱色脱染剤 	1：2.5	毛髪のメラニン色素の強い分解と 酸化染料の分解 (酸性染料の分解は不可)	

各ブリーチ剤の明度と調節

プロマスターEXは基本的に「色番号の見方 (p.2)」の数値を参考にする事で、明るさが調節できます。








■ 2剤の選択方法

6%が必要な場合	OX6を使用
4%が必要な場合	OX6 : OX2 = 1 : 1で混合した物を使用
2%が必要な場合	OX2を使用

○パウダーブリーチの2剤はプロオキサイドを使用します。



■ ブリーチ力

求める明度	使用薬剤例
 17~19	パウダーブリーチ + 6% 2回以上
 16	パウダーブリーチ + 6%
 15	パウダーブリーチ + 4%
 14	パウダーブリーチ + 2%
 13	プロマスターEX ライトレベル LT/H + 6%
 12	プロマスターEX ライトレベル LT/H + 4%
 11	プロマスターEX LT + 6%